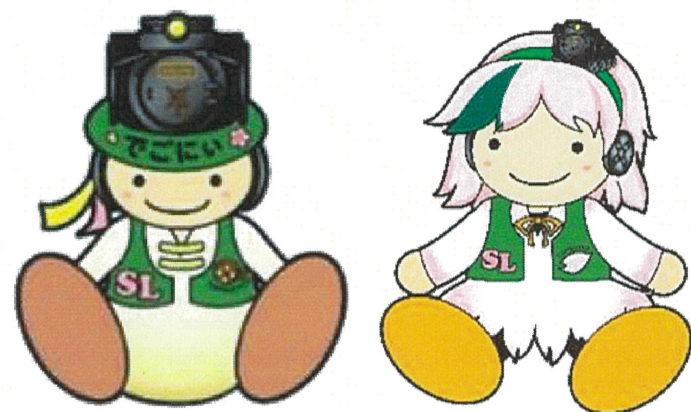


山北町
「0歳から15歳までの一貫教育・保育」
カリキュラム vol.1



令和6年2月
山北町教育委員会

はじめに

山北町では、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校がすべて公立である強みを生かし、令和4年2月に「0歳から15歳までの一貫教育・保育」基本方針を策定しました。

初年度となる令和4年度から、基本方針に示された課題や目標を全ての園・学校が共有し、一貫して取り組む柱を踏まえながら、各園・学校ではそれぞれの実態や課題に応じた教育・保育活動を進めています。また、「0歳から15歳までの一貫教育・保育」を推進する「山北町豊かな学び研究会」では、「コロナ禍で失われた異校種間交流を取り戻す」「互いの顔が見え、気軽に話ができる関係づくり」を合言葉に、様々な機会を捉えて子ども同士・教職員同士の異校種間交流と、地域や関係機関等と連携・協力した体験活動を行ってきています。

令和5年度は、こうした実践を重ねながら、子どもの育ちと学びのつながりを意識したより質の高い教育・保育の実施をめざし、山北町の特色を生かした次の5分野の一貫教育・保育モデルカリキュラムの編成に取り組みました。

- 山北スタンダードカリキュラム〔受け取る力・伝える力〕
- やまきた学びカリキュラム
- 国際理解教育・外国語活動・外国語科カリキュラム
- 食育カリキュラム
- 接続カリキュラム
 - 幼児期から児童期への滑らかな接続のためのアプローチ&スタートカリキュラム
 - 小学校から中学校への接続カリキュラム

各園・学校においては、山北の子どもたちの育ちと学びを支えていくために、新たに編成した切れ目のない一貫教育・保育モデルカリキュラムを基に見通しをもった実践を展開するとともに、園・学校また家庭・地域等との連携をより一層深め、山北町のめざす子どもの姿の着実な実現につなげていきます。

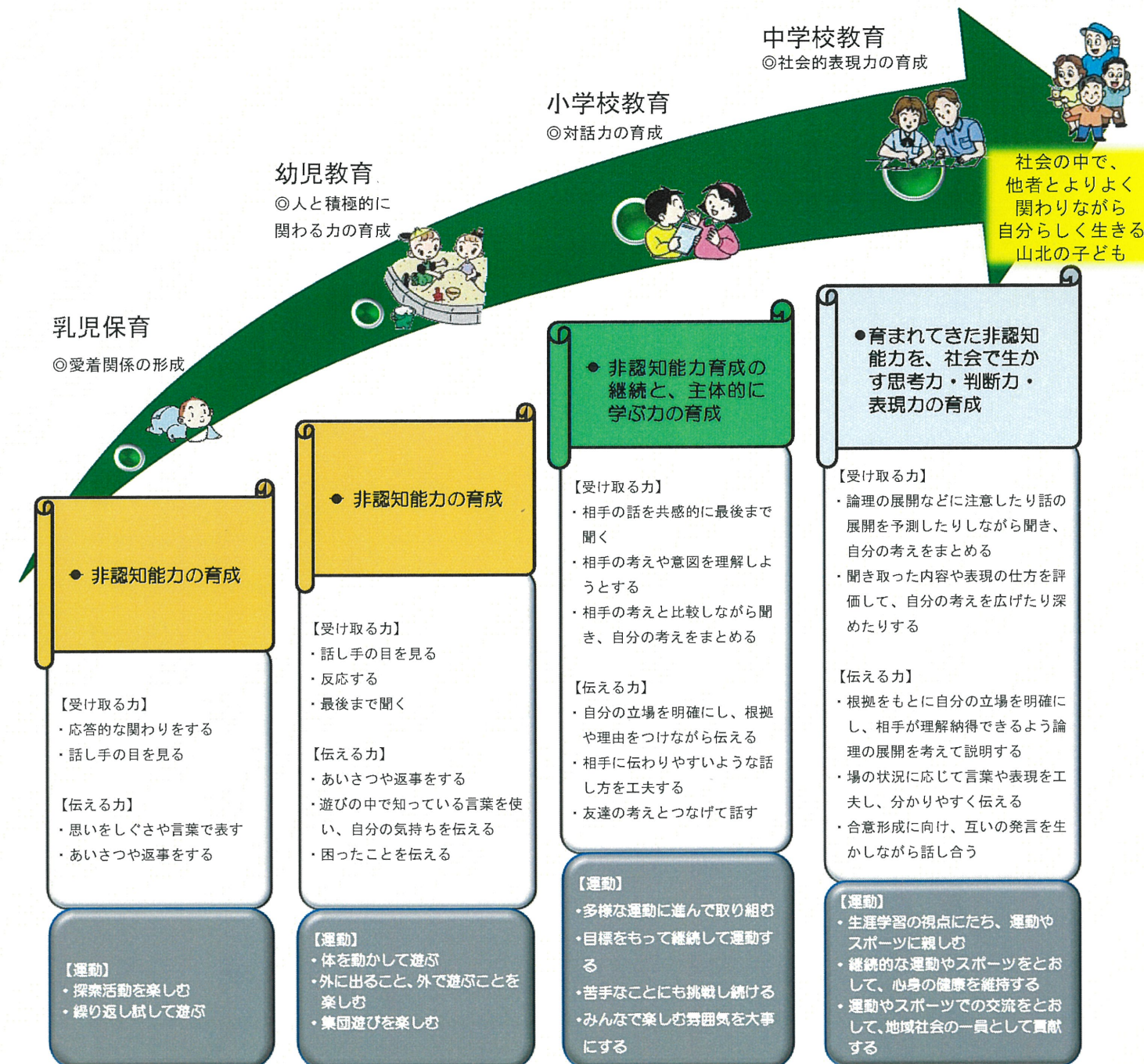
令和6年2月 山北町教育委員会

目次

1	山北スタンダードカリキュラム〔受け取る力・伝える力〕	1
2	やまきた学びカリキュラム	4
3	国際理解教育・外国語活動・外国語科カリキュラム	8
4	食育カリキュラム	10
5	幼児期から児童期への滑らかな接続のための アプローチ&スタートカリキュラム	12
6	小学校から中学校への接続カリキュラム	14
7	山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」イメージ図	16
8	「0歳から15歳までの一貫教育・保育」カリキュラム編成委員	17

「社会の中で、他者とよりよく関わりながら自分らしく生きる山北の子ども」を育む

山北スタンダードカリキュラム



● 非認知能力の育成

- 【受け取る力】
- ・ 応答的な関わりをする
 - ・ 話し手の目を見る
- 【伝える力】
- ・ 思いをしぐさや言葉で表す
 - ・ あいさつや返事をする
- 【運動】
- ・ 探索活動を楽しむ
 - ・ 繰り返し試して遊ぶ

● 非認知能力の育成

- 【受け取る力】
- ・ 話し手の目を見る
 - ・ 反応する
 - ・ 最後まで聞く
- 【伝える力】
- ・ あいさつや返事をする
 - ・ 遊びの中で知っている言葉を使い、自分の気持ちを伝える
 - ・ 困ったことを伝える
- 【運動】
- ・ 体を動かして遊ぶ
 - ・ 外に出ること、外で遊ぶことを楽しむ
 - ・ 集団遊びを楽しむ

● 非認知能力育成の継続と、主体的に学ぶ力の育成

- 【受け取る力】
- ・ 相手の話を共感的に最後まで聞く
 - ・ 相手の考えや意図を理解しようとする
 - ・ 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる
- 【伝える力】
- ・ 自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら伝える
 - ・ 相手に伝わりやすいような話し方を工夫する
 - ・ 友達と考えをつなげて話す
- 【運動】
- ・ 多様な運動に進んで取り組む
 - ・ 目標をもって継続して運動する
 - ・ 苦手なことにも挑戦し続ける
 - ・ みんなで楽しむ雰囲気を作ること

● 育まれてきた非認知能力を、社会で生かす思考力・判断力・表現力の育成

- 【受け取る力】
- ・ 論理の展開などに注意したり話の展開を予測したりしながら聞き、自分の考えをまとめる
 - ・ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする
- 【伝える力】
- ・ 根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるように論理の展開を考えて説明する
 - ・ 場の状況に応じて言葉や表現を工夫し、分かりやすく伝える
 - ・ 合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う
- 【運動】
- ・ 生涯学習の視点にたち、運動やスポーツに親しむ
 - ・ 継続的な運動やスポーツをとおして、心身の健康を維持する
 - ・ 運動やスポーツでの交流をとおして、地域社会の一員として貢献する

人権感覚・人権意識の涵養

涵養¹⁾ 自然に水がしみこむように徐々に養い育てること

段階	園 (0歳~2歳)	園 (3歳~就学前)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
一貫教育・保育の目的	社会の中で、他者とよりよく関わりながら自分らしく生きる山北の子どもの育成													
各段階でめざす形成力	山北スタンダードカリキュラム ○聞く ●読む ♡非言語活動 ○話す ■書く	愛着関係の形成 【受け取る力】 ・応答的な関わりをする ・話し手の目を見る 【伝える力】 ・思いをしぐさや言葉で表す ・あいさつや返事をする	人と積極的に関わる力の育成 【受け取る力】 ・話し手の目を見る ・反応する ・最後まで聞く 【伝える力】 ・あいさつや返事をする ・遊びの中で知っている言葉を使い、自分の気持ちを伝える ・困ったことを伝える	対話力の育成 【受け取る力】 ・相手の話を共感的に最後まで聞く ・相手の考えや意図を理解しようとする ・相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる 【伝える力】 ・自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら伝える ・相手に伝わりやすい話し方を工夫する ・友達の考えにつなげて話す				社会的表現力の育成 【受け取る力】 ・論理の展開などに注意したり話の展開を予測したりしながら聞き、自分の考えをまとめる ・聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする 【伝える力】 ・根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるように論理の展開を考えて説明する ・場の状況に応じて言葉や表現を工夫し、分かりやすく伝える ・合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う						
		♡受容的、応答的な関わりのもとで、安定感をもって過ごす。 ○身近な人の言葉に関心をもって聞こうとする。	♡人との関わりを通して、相手の思いを理解しようとする。 ○様々な体験を積み重ねながら、話を聞くことの楽しさを味わう。	○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ●文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。	○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。 ●目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。	○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ●目的に応じて、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。	○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる。 ●目的に応じて必要な情報に着目して要約して、内容を解釈する。	○論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ●文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。	○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 ●文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。					
		♡体の動きや発声などの表現を優しく受け止めてもらい、やり取りを楽しむ。 □保育者などの応答的な関わりや話しかけにより、言葉を覚えたり、自ら言葉を使おうとしたりして、言葉で表現する楽しさを味わう。	♡自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 □経験したことや考えたことを話し、伝える喜びを感じ、伝え合う楽しさを味わう。 □生活の中で必要な言葉が分かり、親しみをもってあいさつをする。	♡相手の方へ体や視線を向け、うなずいたりあいづちを打ったり、表情で反応をしたりする ○□質問で話を引き出す ○□質問で思いや考えを引き出す ○□質問で相手の思いに迫る										
		★人の話に耳を傾けて聞いたり、自分も真似してみたりする。	★自分が経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で発表する。■振り返り、サークルタイムなど ★共通の目的に対して自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりして思いを出し合う。■保育ウェブマップ	□相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ■語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。	□相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。 ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。	□話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考える。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	□自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える。 ■根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	□自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ■根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	□自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ■表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する。					
★対話・交流 ・話し合う力	安心できる人が傍らにいる	・質問する ・復唱して確かめる ・共感を示す ・感想を言う ・メモしたり記録したりする ・相手の立場や考えを尊重する ・「相手に伝わっているか」を意識する												
読書活動 ・絵本と、保育者などの言葉を通して実体験を重ねながら、言葉を獲得していく喜びを感じる。 3か月ブックスタート	・絵本や物語の読み聞かせなどを通して、言葉に興味をもったり、イメージを広げたりして豊かな表現や言葉に親しみをもつ。 3歳児セカンドブック	・楽しみながら幅広く読書をすることに慣れ親しむ 地域ボランティアによる読み聞かせ (1~4年生 年3回 5・6年生 年2回) 「大きなお話会」(各学年 年1回) 1年入学時サードブック				・多様なジャンルの本と出会い、ものの見方や考え方を広げる 地域ボランティアによる読み聞かせ (月1回) 読書紹介カード作成 (夏期休業中課題) 図書だより (図書委員会作成) 朝読書 電子図書の活用					・読書を自分に役立て、自ら自己表現力を向上させる			
人・こと・もの	心動かされたり、豊かなことばや表現に触れたりする体験 ◎地域の人との交流 ◎地域の自然体験 ◎園外保育 体験したことを知識につなげていく環境 ◎ICTの活用 ◎書籍の活用	語彙量を増やし、語彙力を伸ばす ◎日々の学習活動の中で、習得した言葉を活用する機会の設定 ・自己紹介 ・社会科見学 ・学校たんけん ・川村会議 ・異学年交流 (生活科等) ・交流会、発表会等				タブレットを活用して個やグループの考えや意見を受け取ったり、発信したりする 国語辞典の活用 ・川村会議 ・委員会紹介 ・少年の主張作文 ・子ども議会 ・ドリームマップ等					目的に応じてふさわしい言葉を選んで表現し、言葉の感覚を磨く ◎学校生活全般で、適切な言葉を通して主体的に人と関わる機会の設定 ・各教科での「スライド」「Jamboard」の活用 ・一斉委員会 ・仕事のまなび場Jr. ・進路学習会 (各学校オープンキャンパス・説明会等)			

やまきた学び (郷土愛の育成に資する学習)

「やまきた学び」は、豊かな自然や数多くの歴史・文化遺産に恵まれた山北町の環境を生かした「0歳から15歳までの一貫教育・保育」の学びの体系です。

各領域・教科等の中から、山北町の地域環境を生かして展開する活動・学習内容に視点を当てて編成した「やまきた学び」カリキュラムを通して、子どもたちの山北町についての理解を深め、愛着と誇りを高めること。そして、「やまきた学び」で出会う「ひと・こと・もの」が、子どもたちの自己の生き方・あり方を考える大切な機会となることをめざしています。

1 「やまきた学び」のねらい

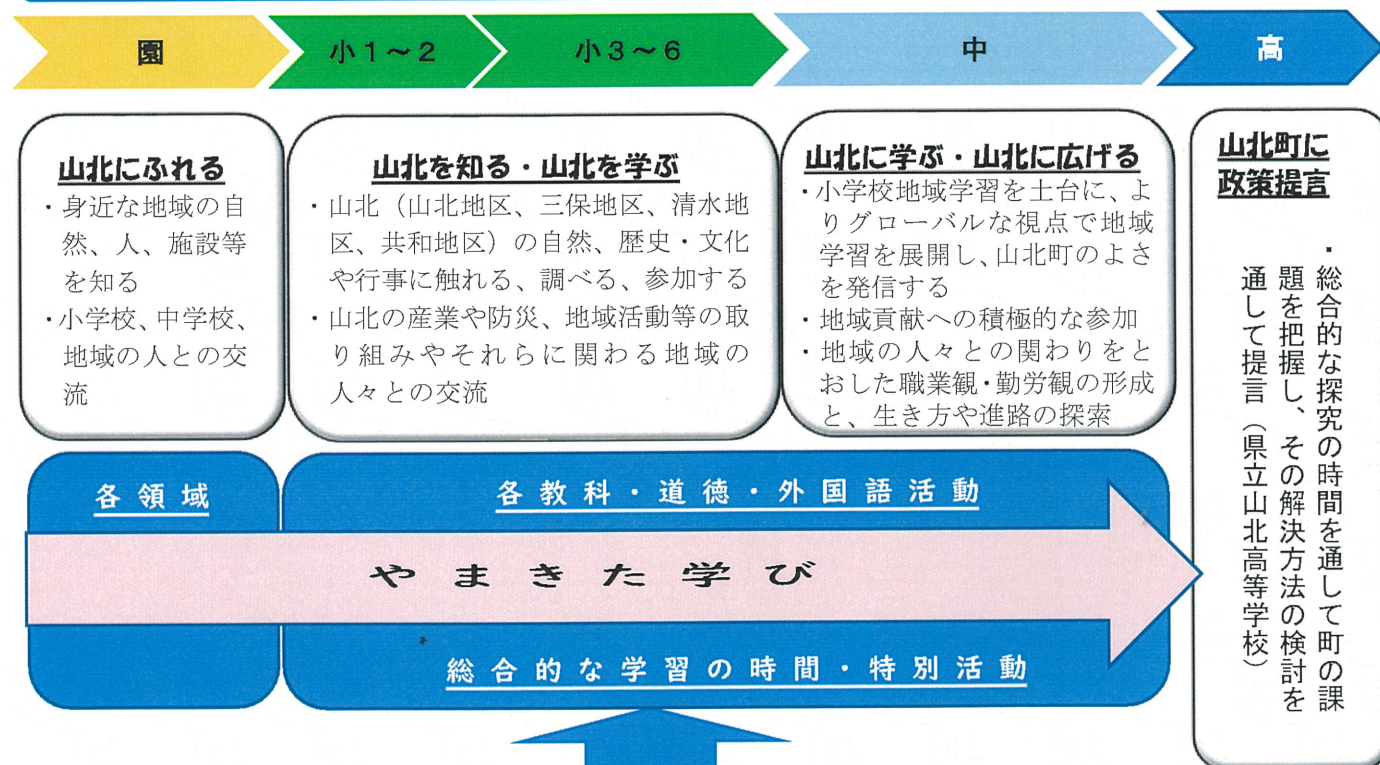
- ◎身近な地域や山北町に対する関心や愛着を深め、ふるさと「山北」への誇りを育てる。
 - ・身近な地域や山北町の歴史・文化、自然、産業、町の現状と課題に関する知識や理解を深める。
 - ・身近な地域での体験や探究活動、地域の人々との関わり等を通して地域のよさに触れ、地域社会の一員としての自覚を高める。
 - ・「やまきた学び」で出会った「ひと・こと・もの」を通して、自己の生き方やあり方を考え、よりよい山北町を創っていかうとする主体的・実践的な態度を育てる。

2 「やまきた学び」グランドデザイン





郷土に愛着をもち、歴史と伝統文化を尊重する心の育成

(山北町第6次総合計画前期基本計画)

山北町「0歳から15歳までの一貫教育基本方針」重点内容 「郷土愛の育成」



3 「やまきた学び」でめざす子どもの姿と活動・学習内容等

	園	小1・2	小3・4	小5・6	中
活動・学習テーマ	山北に触れる 身近な地域に親しむ。	山北を知る・山北を学ぶ 身近な地域に親しみ関わる。	山北を知る・山北を学ぶ 身近な地域を知り、よさに気づく。	山北を知る・山北を学ぶ 山北町を知り、体験し、理解を深める。	山北に学ぶ・山北に広げる 山北町と自分との結び付きを深める。
山北町に対する関心・愛着・誇り	○園の行事や活動に関心をもつ。  だいすき やまきた	○自分と身近な人々や様々な場所、公共物などとの関わりに関心をもつ。	○人々の暮らしや先人の働きに関心を持ち、地域に愛着を感じる。	○町の文化や歴史、産業等に関心を持ち、町の特色やよさ、課題を考える。	○町の文化や歴史等に誇りをもち、国内外の他地域の様子も踏まえながら、町の将来や地域の発展について考える。
山北町についての気づき・知識・理解	○園周辺の様子に気づく。人と出会う。  しってる やまきた	○地域の人や自然の素晴らしさに気づく。	○地域の地理的環境、人々の生活の変化、郷土の発展に尽くした先人の働きを知る。	○町の地理、歴史、産業について様々な観点から調べ、理解し、考える。	○町の文化や歴史、特色ある産業を理解し、町の生活に関する知識や技術を身に付ける。
山北町民としての自覚・実践的な態度	○身近な地域の人と進んで触れ合おうとする。  もっと やまきた	○触れ合った地域の人々に親しみをもって接し、適切に行動しようとする。	○自分や他者、町に関わる人々に関心を持ち、理解しようとする。 ○地域学習で調べたことや考えたことを自分なりに表現する。	○地域社会と積極的に関わり、町についての探究や地域活動に進んで取り組もうとする。 ○地域学習に主体的に取り組み、学びの成果を適切に表現したり効果的に発信したりする。	○地域社会の一員としての自分の役割や行動について考え、自分のよさを発揮しながら地域の中で実践しようとする。
「やまきた学び」を通して育みたい「自己の生き方・あり方」に資する資質・能力	○身近な人や自然と関わり、楽しむ中で自己肯定感を育む。  いいね、じぶん	○身近な人々、社会、自然との関わりを深めることを通して、自分のよさに気づく。	○地域社会や人々との関わりの中で、自分が支えられていることに気づき、自分のあり方を見直す。	○地域社会や人々との関わりの中で、自分の夢や希望について考える。 ○自分らしさを発揮しながら自分のできることを実践しようとする。	○探究活動や地域の人々との関わりを通して望ましい人生観・勤労観を身に付ける。 ○地域社会の一員として自分の将来や生き方を考え、自己の個性を理解して主体的に進路を切り拓こうとする。
活動・学習内容	園の活動計画による	主に生活科の指導計画による	主に社会科・理科・総合的な学習の時間の指導計画による 山北の歴史・文化・自然環境・仕事・人		
	山北 森林体験・森林学習				
	しいたけほだ木づくり菌打ち体験	共和地区の森散策(2年)	間伐体験(5年)	森林環境税(3年)	

段階	園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
ねらい	◎身近な地域や山北町に対する関心や愛着を深め、ふるさと「山北」への誇りを育てる。 ・身近な地域や山北町の歴史や文化、自然、産業、町の現状と課題に関する知識や理解を深める。 ・身近な地域での体験や探究活動、地域の人々との関わり等を通して地域のよさに触れ、地域社会の一員としての自覚を高める。 ・「やまきた学び」で出あった「ひと・こと・もの」を通して、自己の生き方やあり方を考え、よりよい山北町を創っていくとする主体的・実践的な態度を育てる。											
テーマ	山北にふれる 身近な地域に親しむ	山北を知る・山北を学ぶ 身近な地域に親しみ関わる 身近な地域を知り、よさに気づく 山北町を知り、体験し、理解を深める						山北に学ぶ・山北に広げる 山北町と自分との結び付きを深める				
活動	たいすき やまきた ○園周辺の探索をする中で身近な地域や自然に触れる ○小中学校・高校・他園の様子を知り、交流する ○公園や施設・史跡を知る ・河村城址歴史公園 ・鉄道公園(D52) ・生涯学習センター ・般若院 ・駅前商店街 など	あそびに いこうよ ・ぐみの木公園 ・身近な公園 など	すてきはっけん 山北町 ・自分が見つけた山北町のすてきな「人、場所、もの」の紹介 ・丸山公園 ・河村城址公園 ・町施設 ・自分が好きな場所や人 など	理科	しぜんのかんさつ ・学校や学校の周りの自然観察	季節と生き物の様子 ・学校や学校の周りの季節ごとの自然観察	流れる水のはたらき ・酒匂川	大地のつくりと変化 ・山北の地層	地層から読み取る大地の変化 ・山北の成り立ち	気象の観測と雲のでき方 ・山北の気象	自然環境の調査と保全 ・山北の自然	
				社会科	わたしたちのまちの様子 ・町の施設や店、土地の様子	健康なくらしとまちづくり ・山北町の水道設備や西部環境センター	未来を支える食料生産 ・山北の米作り	わたしたちの暮らしを支える政治 ・山北町の政治の様子(山北町の取り組みと議会のはたらき)	歴史の流れをとらえよう ー身近な地域の歴史を調べるー ・山北の歴史 ・堂山遺跡 ・南原古墳群	身近な地域の調査 ー地域調査の手法ー ・山北町の特徴や課題をとらえるための調査	よりよい社会をめざして ー地域の課題の解決ー ・持続可能な社会と山北町	
学諸団体との連携等	しってる やまきた ○園だけではできない体験を通して心を動かし、地域と触れ合う ・どろんこ ・梅もぎ ・やきいも ・陶芸 ・染め布 ・ハロウィン など	ようこそ 小学校へ ・3園との交流会	かわる道具とくらし ・三保の家 ・鉄道の町「山北」	理科	地いきの安全を守る ・町の駐在所や小田原消防本部山北出張所 など	昔から今へと続くまちづくり ・三保ダム ・喜一郎新田 ・堀割 ・川村用水	未来をつくり出す工業生産 ・小保木製作所	日本の歴史 ・尾崎遺跡 ・河村氏 ・河村城 ・河村新城	戦争と人々の暮らし ・山北町の戦争 ・山北に残る戦争遺跡			
	もっと やまきた いいね じぶん ○様々な人とかかわり方に気づく ・川村囃子 ・お茶の稽古 ・おはなし会(絵本読み聞かせ) ・交通防犯教室 ・盆踊り ・ソーラン山北 ・リトミック ・わらべ歌遊び など			あそび名人になるう ・むかしからのあそびにちょうせん	総合的な学習の時間 山北町ってどんなまち？ ・お茶栽培 ・みかん栽培 ・学校のうつりかわり など	山北町の災害と防災 ・天地返し・S47.7.12豪雨 など	私たちを支える人々 ・山北の地域活動や取り組んでいる人たち など	山北の自然を見つめよう ・山北の自然環境を様々な視点から調査 など ・米づくり体験	命や平和について考えよう ・戦争を経験した人々の話 ・戦争遺跡	私たちの願いを ・子ども議会に提案 ・ドリームマップ	私たちの町「山北」再発見 ★調べる ・情報収集 ・データを読み解く	★深める ・体験 ・インタビュー
内容	山北森林学習 しいたけほだ木づくり ・菌打ち体験	玉ねぎの植え付け体験 山北の森の散策 しいたけ収穫	タマネギ収穫体験	室生神社の流鏝馬	山北の自然を 伐採体験	山北町の自然 伐採体験	山北の遺跡 河村氏と山北	地域ボランティア 山高報告会参加	仕事の学び場Jr. 山北のお峰入り	ようこそ先輩先輩から学ぶ ・出前授業 森林環境税と山北		
等	○乳幼児家庭教育学級 ・親子体験		百万遍念仏	山王小交流 ・三保ダム		山北の遺跡 河村氏と山北	町防災訓練参加					
朝会等での「やまきたタイム」(山北の「歴史・文化・自然環境・仕事・人」と子どもたちが一堂に会して講話等を聞く機会の設定) ★ 各種活動や教科等での「やまきた拍子木の会」との連携												

段階	園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
テーマ	英語や外国の文化にふれる	英語や外国の文化に親しむ			英語を使った多様な活動（やりとり、ゲーム、教科書の問題など）に慣れる		学習内容とジェスチャーを活用しながらコミュニケーションしたり発表したりする		今まで身に付けた英語や文化に関する知識を生かして、自分の考えや知り得た情報をまとめ英語で発信する	
目標 活動 学習内容等	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児～5歳児全員が、ALTと遊びの中で自然に関わり、親しみをもつ。 ALTとの関わりの中で英語に興味をもつ。 5歳児は簡単なゲームや歌などを通して、外国の文化に触れたり、英語を使って表現したりすることを楽しむ。 	<p>ゲームや歌、身近な題材、英語の絵本の読み聞かせなどを通して、</p> <p>ア 外国語の音声やリズムに慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>イ ALTとの触れ合いや英語の絵本の読み聞かせ等を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いに気づくことができるようにする。</p> <p>ウ 英語に興味・関心を持ち、英語を用いて楽しく活動できるようにする。</p>	<p>ゆっくりはっきりと話された際に、</p> <p>ア 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。</p> <p>イ 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。</p>	<p>ゆっくりはっきりと話された際に、</p> <p>ア 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動</p> <p>★身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容が分かったりする活動</p> <p>★身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動</p> <p>★文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字で書かれた文字と結び付ける活動</p>	<p>ゆっくりはっきりと話されたら、</p> <p>ア 自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p>	<p>★自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動</p> <p>★日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動</p> <p>★友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p>	<p>はっきりと話されたら、</p> <p>ア 日常的話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p>	<p>★日常的話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動</p> <p>★店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動</p> <p>★友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し適切に応答する活動</p> <p>★友達や家族、学校生活などの日常的話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動また、その内容を英語で話す活動</p>	
	話すこと（やり取り）	<p>★日常のあいさつや自然、行事などについて、聞いたり話したり、歌ったりする活動（ビンゴゲーム、カードゲーム等）</p>	<p>★子どもたちにとって身近なもの（色や動物、果物や野菜、体の部位等）や行事（七夕やハロウィン、クリスマス等）について、聞いたり話したりする活動（ビンゴゲーム、カードゲーム等）</p>	<p>ア 基本的な表現を用いてあいさつ、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりできるようにする。</p> <p>イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。</p> <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりできるようにする。</p>	<p>★初対面の人や知り合いとあいさつを交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動</p> <p>★日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動</p> <p>★自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をしたりする活動</p>	<p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p>	<p>★関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に対応したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動</p> <p>★日常的話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動</p> <p>★社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えた言葉などを伝えたり、相手からの質問に対して適切に答えたり自ら質問したりする活動</p>			
山北を題材にした活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動の中で教えてもらったことを保育や園外保育の中でつなげていく。 絵カードの絵を写真にする（機関車の絵→D52など） 	<ul style="list-style-type: none"> 色の単元に山北町の自然などを取り入れる。 <p>[例] 高松山でgreen、やまぶきでyellow 御殿場線沿いの桜でpinkなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合で調べる山北町の祭りやマラソン大会、滝や湖、温泉などの英語表現 <p>[例] festival, lake等</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit8 「What's this? It's ~」で社会科「わたしたちのまちと市」の町たんけんで見える建物をクイズで紹介 <p>[例] What's this? It's ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Unit8 「This is my favorite place.」で、山北の名所を加える。 <p>[例] This is Guminoki park. 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> Unit5 「Where is the post office?」の道案内の地図に山北の店や施設、観光地などを入れ、おすすめの所をALTに紹介する。 Unit7 「Welcome to Japan.」でALTに山北の行事（さくら祭りや丹沢湖花火大会等）を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> Unit3 「Let's go to Italy」で食べられるものや見られるものなどを紹介する。 Unit6 「Let's think about our food.」のオリジナルメニューを考えるときに、山北メニューを考案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 山北の祭り（流鏝馬、お峰入り、丹沢湖花火）体験や思い出を伝える。 <p>I went to ~. I did ~. It was ~. I was ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国から来た観光客に山北を紹介するプレゼンテーションを行う。 <p>There is ~ in Yamakita. You can ~. You should ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の友人に送る、山北の特産品の紹介を行う。 <p>Have you ever tried ~. ~ was made in Yamakita. I want ○○ to ~. It is sold at ~.</p>	
形態指導等	<p>ALTと学級担任のチーム・ティーチング（TT）で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTに外国籍の園児と関わりを深めてもらうことで、個別支援の充実を図る。 	<p>小学校ALTと学級担任のチーム・ティーチング（TT）で実施</p> <p>★聞く時間（単語ややり取りなど）をしっかりと確保し、話す時間へと移行する。 ★児童が楽しみながら英語を聞いたり発せられたりする多様な場を設定する。 ★授業の流れをパターン化し、児童が見通しをもち、安心して授業に臨めるようにする。</p>			<p>小学校英語専科教員と小学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</p> <p>年間3回程度、小学校英語専科教員・中学校英語専科教員と小学校ALT・中学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</p>	<p>中学校英語専科教員と中学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</p> <p>年間3回程度、小学校英語専科教員・中学校英語専科教員と小学校ALT・中学校ALTのチーム・ティーチング（TT）で実施</p>				
町の支援	<p>← 実用英語技能検定受験補助 →</p>									


食育カリキュラム [町食育テーマ 「 つ な が り 」]

大目標		●家族で囲む食卓やみんなで楽しむ食事で、活力ある1日を過ごす ●自分の食事の適量を知り、栄養バランスのとれた食事を摂る ●食を通して様々な心を育成する																									
中目標		●食べ物に関心をもち、食べることを楽しむことができる ●栄養バランスのよい食事を意識できる ●食に関わる人に関心をもち、感謝の気持ちをもつことができる																									
小目標		●食べ物の働きを理解し、食品の組み合わせや栄養バランスを考えて簡単な調理を行うために必要な技術を身に付ける ●食に関わる人や食べ物に感謝の気持ちをもち、食事のあいさつができる ●楽しい食事をするための工夫について考え、衛生に配慮した食事をすることができる ●地域の伝統料理や諸外国の食文化を理解し、尊重する ●食事に興味・関心をもち、自ら調理して食事の準備をしたり栄養バランスに配慮した食生活を実践したりしようとする																									
推進体制		計画策定				推進状況の確認				評価実施				計画案作成													
月		4月		5月		6月		7月		8・9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月					
◆：栄養教諭・栄養士が参画する学習 ★：学年を越えた学習	教 育 科 等 の 関 連 学 校	未 満 児	様々な食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする ●楽しい雰囲気の中で食事をしようとする ●畑に行き、作物の成長を楽しみにする		◆食べる意欲の基礎作り 栄養士定期巡回		「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする ●調理をする人に関心をもち ●食品や献立の名前に興味をもつ		◆食べる意欲の基礎作り 栄養士定期巡回																		
		3・4歳児	様々な食べ物に興味や関心をもち、進んで食べようとする ●箸の使い方を知り、きれいに食べようとする ●献立や食べ物に興味・関心をもち ●野菜づくりを通して収穫の喜びや食べることを楽しむ		◆栄養講話 献立紹介 栄養士定期巡回		食べ物と体の関係に関心をもち ●身体を動かし、食事を楽しくする ●友達と協力して食事の準備や後片付けを進んでする ●調理している人に関心をもち、感謝の気持ちをもつ		◆調理体験 おにぎり作り		◆栄養講話 献立紹介 栄養士定期巡回		しいたけ菌 打ち体験														
		5歳児	様々な食べ物に興味や関心をもち、進んで食べようとする ●箸の使い方を知り、きれいに食べようとする ●献立や食べ物に興味・関心をもち ●野菜づくりを通して収穫の喜びや食べることを楽しむ		◆野菜づくり		食べ物と体の関係に関心をもち ●身体を動かし、食事を楽しくする ●友達と協力して食事の準備や後片付けを進んでする ●調理している人に関心をもち、感謝の気持ちをもつ		◆お弁当の日へむけて おにぎり作り		◆野菜講話 献立紹介 栄養士定期巡回		★小学校教諭による訪問(小学校の給食は?、白衣の着方)														
		1	(生)がっこうたんけん		(国)おおきなかぶ	(国)おむすびころりん		(英)英語で遊ぶ食べ物	(英)英語で遊ぶ野菜	(国)おかゆのおなべ	(国)ものの名まえ																
		2	(国)ふきのとう	(生)わたしたちの野さいばたけ	(生)わたしたちの野さいばたけ (国)スイミー (音)ドレミであそぼう (道)げんきにそだて、ミントマト	(生)◆わたしたちの野さいばたけ (英)くだもの	(道)かむかむメニュー	(国)お手紙	(英)のみもの たまねぎ植え付け体験		(道)学きゅうえんのさつまいも																
		3	(理)ぐんぐんのびろ (社)わたしたちのまちと市 (総)山北町について調べよう	(保)けんこうな1日の生活 (理)ぐんぐんのびろ (社)わたしたちのまちと市 (総)山北町について調べよう	(国)わたしと小鳥とすずと (理)実がでるころ (総)山北町について調べよう	(国)ちいちゃんのかげおくり (理)実がでるころ (総)山北町について調べよう	(国)すがたをかえる大豆 (理)実がでるころ (総)山北町について調べよう	(国)すがたをかえる大豆 (総)山北町について調べよう	(英)What do you want? (総)山北町について調べよう	(総)山北町について調べよう (英)買い物しよう	(総)山北町について調べよう (英)何がすき?	(総)山北町について調べよう															
		4	(国)白いぼうし (理)季節と生き物 (社)県の地図を広げて	(社)水はどこから	(国)一つの花 (社)ごみはどこへ (保)体の発育と健康	(社)ごみはどこへ	(国)ごんぎつね (社)地震にそなえるまちづくり	(理)すずしくなると (社)地域で受けつがれてきたもの (道)バルバオの木 (総)交流会に向けて	(理)水の3つのすがた (道)お母さんのせいきゅう書 (総)交流会に向けて	(保)体の発育と健康	(社)わたしたちの県のまちづくり	(社)わたしたちの県のまちづくり															
		5	(社)日本の国土とわたしたちの暮らし (家)クッキングはじめの一步	(理)種子の発芽と成長 (社)日本の国土とわたしたちの暮らし (家)クッキングはじめの一步 (総)★お米について調べよう	(理)魚のたんじょう (家)クッキングはじめの一步 (総)お米について調べよう	(社)水産業のさかんな地域 (総)野外教室を成功させよう (総)お米について調べよう	(理)実や種子のでき方 (社)◆これからの食料生産 (家)食べて元気に (総)野外教室を成功させよう	(理)実や種子のでき方 (総)★お米について調べよう	(家)食べて元気に (総)お米について調べよう	(国)やなせたかしーアンパンマンの勇気 (家)食べて元気に (総)お米について調べよう	(総)★お米について調べよう 餅つき	(家)いっしょに「ほっとタイム」 (総)米づくりをまともよう															
		6	(理)植物の養分と水 (家)できることを増やしてクッキング	(理)人や動物の体 (社)国づくりへの歩み、大陸に学んだ国づくり (家)できることを増やしてクッキング	(理)植物の養分と水 (社)室町文化と力をつける人々 (保)病気の予防	(理)生物のくらしと環境	(国)やまなし	(家)◆こんだてを工夫して	(保)病気の予防	(家)◆こんだてを工夫して (英)Where is it from?	(家)共に生きる地域での生活 (英)Where is it from?	(理)人と環境															
		1	(社)世界各地の人々の生活と環境 (理)いろいろな生物とその共通点 (家)食事の役割	(社)世界各地の人々の生活と環境 (理)いろいろな生物とその共通点 (家)私たちの食生活 栄養素ってなんだろう・中学生に必要な栄養 (国)ダイコンは大きな根? (特)◆お弁当の日の計画	(理)いろいろな生物とその共通点 (家)私たちの食生活 栄養素ってなんだろう・中学生に必要な栄養 (英)朝ごはんは何食べる?	(家)私たちの食生活 栄養素ってなんだろう・中学生に必要な栄養	(社)世界の諸地域 (道)わが国の食文化 (家)◆栄養バランスの良い献立作り (国)大人になれなかった弟たちに...	(社)世界の諸地域 (家)食品の選択と購入 (英)フィリピンの食べ物	(社)世界の諸地域 (保)健康な生活と病気の予防「食生活と健康」 (家)日常食の調理 (家)調理実習 (特)◆お弁当の日の計画	(社)世界の諸地域 (保)健康な生活と病気の予防「食生活と健康」 (家)日常食の調理 (家)調理実習 (特)◆お弁当の日の計画	(社)世界の諸地域 (保)健康な生活と病気の予防「食生活と健康」 (家)日本の食文化と和食の調理 (特)◆お弁当の日の計画	(家)持続可能な食生活 (保)健康な生活と病気の予防「食生活と健康」 (家)日本の食文化と和食の調理 (特)◆お弁当の日の計画															
		2		(理)生物の体のつくりとはたらき (技)バジルの栽培	(社)日本の地域的特色と地域区分 (理)生物の体のつくりとはたらき (家)責任ある消費者になるために	(社)日本の諸地域 (理)生物の体のつくりとはたらき (道)わが国の食文化 (国)盆土産 (国)字のない葉書	(社)日本の諸地域 (理)生物の体のつくりとはたらき (音)イタリアの文化	(社)日本の諸地域 (保)健康な生活と病気の予防「生活習慣病とその予防」 (道)食への感謝と勤労への感謝 (特)◆お弁当の日の計画	(社)日本の諸地域 (保)健康な生活と病気の予防「生活習慣病とその予防」 (家)幼児の生活と食事	(家)災害への対策 (特)◆お弁当の日の計画																	
		3		(国)握手 (特)◆お弁当の日の計画	(理)生命の連続性 (英)フードマイレージ	(理)生命の連続性 (英)フードマイレージ			(特)◆お弁当の日の計画	(英)食料自給率、食品の選択	(社)地球社会と私たち (理)自然と人間(生態系・食物連鎖) (道)わが国の食文化 (国)温かいスープ																
給食指導		4月		5月		6月		7月		8・9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月					
月別目標		食事のマナーを身につけよう		食の大切さについて考えよう		衛生に気をつけよう 歯と口の健康を考えよう		暑さに負けない食事をしよう		規則正しい食生活をしよう		好き嫌いなく食べよう		感謝して食べよう		寒さに負けない食事をしよう		給食について考えよう		健康を考え食事をしよう		1年の食生活を振り返ろう					
ねらい		●給食の準備や片付けを能率的に行う ●時間を守る ●食器の置き方 ●ゴミの処理の仕方 ●みんなで気持ちよく食事を する工夫		●食べ物の働き ●健康によい食事のとり方 ●朝ごはんの重要性		●食事前後の手洗い ●給食当番の服装 ●食べ物の衛生管理 ●カルシウムの多い食べ物 ●よくかんで食べる ●食育月間		●水分補給 ●栄養バランスのとれた食事 ●間食の摂り方		●毎日三食バランスよく食べる ●健康によい朝食 ●早寝早起き朝ごはん ●食事、運動、睡眠		●バランスよく食べる ●肥満ややせによる弊害		●生産者、調理員、給食当番への感謝の気持ち ●食べ物を大切にすること ●食事のあいさつ		●栄養バランスのとれた食事 ●旬の食材 ●貧血予防		●給食の歴史 ●給食の役割 ●行事食、郷土料理、地場産物 ●全国学校給食週間		●給食の歴史 ●給食の役割 ●行事食、郷土料理、地場産物 ●全国学校給食週間		●給食の歴史 ●給食の役割 ●行事食、郷土料理、地場産物 ●全国学校給食週間		●給食の歴史 ●給食の役割 ●行事食、郷土料理、地場産物 ●全国学校給食週間		●給食の歴史 ●給食の役割 ●行事食、郷土料理、地場産物 ●全国学校給食週間	
お弁当の日		1学期:5月		2学期:11月		3学期:2月																					
小学校		(小1・2)家族と一緒に献立を考え、マイベんと作りの手伝いをしよう (小3・4)家族と一緒に献立を考え、マイベんと箱にきれいに詰めよう (小5・6)献立を考え、マイベんと作りに挑戦しよう		(小1・2)家族と一緒に献立を考え、マイベんと作りの手伝いをしよう (小3・4)家族と一緒に献立を考え、マイベんと箱にきれいに詰めよう (小5)ごはんを炊いて、マイベんと作りに挑戦しよう (小6)栄養バランスのよいマイベんと作りに挑戦しよう		(小1・2)家族と一緒に献立を考え、マイベんと作りの手伝いをしよう (小3・4)家族と一緒に献立を考え、マイベんと箱にきれいに詰めよう (小5)ごはんを炊いて、マイベんと作りに挑戦しよう (小6)栄養バランスのよいマイベんと作りに挑戦しよう																					
中学校		「旬の食材を使ったお弁当作りにチャレンジしよう!」 (中1)チャレンジ弁当…小学校での経験を生かしたお弁当作りをする (中2)地産地消弁当…山北町や神奈川県内など近隣の食材を使ったお弁当作りをする (中3)マイこだわり弁当…自分の得意料理や家の自慢料理、調理へのこだわりを取り入れたお弁当作りをする		「旬の食材を使ったお弁当作りにチャレンジしよう!」 (中1)チャレンジ弁当…小学校での経験を生かしたお弁当作りをする (中2)地産地消弁当…山北町や神奈川県内など近隣の食材を使ったお弁当作りをする (中3)マイこだわり弁当…自分の得意料理や家の自慢料理、調理へのこだわりを取り入れたお弁当作りをする		「旬の食材を使ったお弁当作りにチャレンジしよう!」 (中1)チャレンジ弁当…小学校での経験を生かしたお弁当作りをする (中2)地産地消弁当…山北町や神奈川県内など近隣の食材を使ったお弁当作りをする (中3)マイこだわり弁当…自分の得意料理や家の自慢料理、調理へのこだわりを取り入れたお弁当作りをする																					
献立の工夫		(小)小学校スタート献立 (中)中学校接続献立								(中)テスト応援献立		10月14日「山北鉄道の日」 献立 山北献立週間		11月24日「和食の日」 (国)全国味噌ぐり献立		(小・中)中学校体験献立 ※中学校説明会の日に実施		1月22日カレーの日献立 (園・小)小学校体験献立 ※小学校見学の日に実施		(小・中)中学校体験献立 ※中学校出前授業の日に実施							

幼児期から児童期への滑らかな接続のためのアプローチ&スタートカリキュラム

段 階	幼児期【幼稚園・保育園・こども園】5歳児 アプローチカリキュラム						児童期【小学校】1年生 スタートカリキュラム	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5~6月
めざすこども像	<p>◎明るく元気で思いやりのある子 ◎自分で考え表現する子 ◎自然に親しみ、地域とのふれあいを大切にする子</p> <p>《 幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿 》 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現</p>						<p>子どもたちに育みたい資質・能力</p> <p>学びに向かう力、人間性など</p> <p>知識及び技能</p> <p>思考力、判断力、表現力など</p>	
	幼児期における豊かな体験、生活や学習の基盤づくり						集団に慣れ、新たな生活や学習の仕方を身につける	
育 み た い 力	<p>学びの基盤</p> <p>〈知識・技能の基盤〉 〈思考力・判断力・表現力の基礎〉</p> <p>⑥思考力の芽生え ⑧数量や図形、標識や文字等への関心、感覚 ⑩豊かな感性と表現</p>	<p>さまざまな方法で試行錯誤しながら「わかった」「できた」という達成感を味わいます。</p> <p>自分の力で理解できたり、やり遂げられたりした喜びを次への意欲へとつなげます。</p>	<p>友だちの考えにふれる中で、自ら判断したり考え直したりして、新しい考えを生み出します。</p> <p>自分と違う考えもあることに気づき、自分の考えをよりよいものにしようとします。</p>	<p>好きなことや興味のあることに粘り強く取り組みます。</p> <p>好奇心や自主性を大切に、継続する根拠強さを育みます。</p>	<p>好きなことや興味のあることに粘り強く取り組みます。</p> <p>好奇心や自主性を大切に、継続する根拠強さを育みます。</p>	<p>好きなことや興味のあることに粘り強く取り組みます。</p> <p>好奇心や自主性を大切に、継続する根拠強さを育みます。</p>	<p>生活科を中心に幼児期に経験してきた「遊びを通した総合的な学び」を小学校の教科学習や生活に取り入れる</p> <p>よくね(自己紹介) そとあそびにいこう 学校たんけんにいこう</p> <p>ともだちのなまえ せんせいクイズ</p> <p>園で親しんだ活動を取り入れる</p> <p>好きなものは? うたっておどろろ すきなえをかこう ゆうぐであそぼう かぞえよう かずをかこう すうじの練習 いくつかな ブロックを使おう えんぴつの持ち方 なぞりがき おはなしたのしいな ひらがなの練習 声にだしてよう</p> <p>国語・算数・音楽・図工・体育など</p> <p>複数の教科を合科的に組み合わせ15~30分のモジュール学習を取り入れる</p>	
	<p>非認知能力</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉 〈人権感覚・人権意識の涵養〉</p> <p>③協同性 ⑦自然との関わり 生命尊重 ⑨言葉による伝え合い</p>	<p>友だちと力を合わせて遊んだり、取り組んだりします。</p> <p>仲間と協力しあうことの楽しさを味わいます。</p>	<p>自然に触れる中で、動植物などに興味や関心を持ちます。</p> <p>命の大切さや季節の変化を感じます。</p>	<p>読み聞かせや読書などを通して本に親しみます。</p> <p>本を読んだり聞いたりして感じたことなどを言葉で伝えます。</p>	<p>自分の気持ちや考えなどを言葉で伝えます。</p> <p>相手の話をよく聞いたり自分の経験や考えを話したりして、言葉による伝え合いを楽しめます。</p>	<p>年下の園児や地域の人たちとの交流を深めます。</p> <p>様々な交流をとおして、人との関わり方に気づき、自分が役に立つ喜びを感じます。</p>	<p>園の体験を学習や生活に生かし、友だちや先生とかわる</p> <p>○さまざまな活動に興味や関心をもって、進んで取り組む。 ○友だちや先生に自分の気持ちや伝えたいことが言える。 ○友だちといっしょに協力しあって、なかよくすごす。</p>	
	<p>運動・健康自立</p> <p>〈生活習慣・運動習慣〉</p> <p>①健康な心と体 ②自立心 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり</p>	<p>ごはんをしっかり食べ、トイレをすませます。</p> <p>生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけます。</p>	<p>毎日、いろいろな運動遊びで体を動かします。</p> <p>外遊びや集団遊びで体を動かす楽しさを味わい健康な体を作ります。</p>	<p>準備、片付け、着替えなどは自分ですませます。</p> <p>自分の身の回りのことは自分でやろうとする自立心を身につけます。</p>	<p>返事やあいさつが自分からできます。</p> <p>名前を呼ばれたら返事をし、ありがとうやごめんなさいが言えます。</p>	<p>生活の時間やルールを守ります。</p> <p>親子や友だちの間で、定められた約束やルールを守る大切さを知ります。</p>	<p>自分のことは自分でする きまりを守ってすごす</p> <p>○安全に気を付けて登下校する。 ○教室での過ごし方や学校のきまりを知る。 ○気持ちのよいあいさつができる。 ○話の聞き方、並び方、着替え方などを知る。 ○クラスの友だちの名前を知り、仲良く遊ぶ。 ○学習用品の使い方を知る。</p> <p>○学習の規律(話し方や聞き方、学習の仕方)を身に付ける。 ○相手を意識した行動ができるようになる。 ○学級の一員であることを自覚し、当番係、清掃活動の仕事に協力して取り組む。 ○給食の準備と片付け方を知り、感謝の気持ちをもって楽しく食事をする。 ○一日の見通しをもって生活できるようにする。</p>	
3園と小学校との連携・共有	<p>○園・小研究会への相互参加 ○1年生遊びランドに参加 ○運動会練習見学 ○稲刈り体験交流 ○町教育研究会での授業参観、情報交換 ○ALTによる国際理解教育 ○園教職員の一日小学校体験研修 ○小学校教職員の一日園体験研修</p> <p>顔の見える関係づくり すきま時間のアポなし訪問 等</p>			<p>○半日小学校体験 ⇒1年生との学校めぐりや授業体験などを通して雰囲気をつかむ。</p>	<p>○小学校教諭による出前授業 ⇒学校生活の様子を聞き、期待と安心感につなげる。</p>	<p>○小学校への引継ぎ ⇒児童理解に支援に関わる配慮事項等を丁寧に伝え、具体的な指導の手立てにつなげる。</p>	<p>○年長児担任の授業参観 ○園・小情報交換会 ⇒入学後の子どもの様子を共有し適切な支援等について協議する。</p>	<p>○支援シートや要録の活用 ○園・小研究会への相互参加 ⇒幼児教育を小学校教育へどのように発展・進化させていくか双方の立場で研究する。</p>
地域・保護者との連携	○掲示板や園だよりによる発信 ○保護者との日常的な関わりによる信頼関係の構築 ○地域の自然や文化、行事等を通じた交流の推進						○保護者の期待や不安に適切に対応する ○学年だより等による情報発信	

小学校から中学校への接続カリキュラム

段階	児童期【小学6年生】		生徒期【中学1年生】
学期	1～2学期	3学期	1学期
めざす子ども像	<p>子どもたちに育みたい資質・能力</p> <p>実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能</p> <p>学んだことを人生や社会に生かそうとする</p> <p>未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など</p> <p>学びに向かう力、人間性など</p>		<p>《義務教育課程のゴールである15歳時のめざす子ども像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲をもち学び続ける子 ○自らすすんで自己表現できる子 ○人とかかわる力や思いやりのある子 ○運動に親しみ、健康で笑顔あふれる子 ○国際感覚とともに郷土に愛着をもつ子 
自分らしく生きていくことができる人間力と社会力 社会の中で他者とよりよく関わりながら 学びに向かう力や姿勢の 基盤となる非認知能力	<p>非認知能力育成と主体的に学ぶ力の育成</p> <p>◆相手の話を共感的に最後まで聞く ◆相手の考えや意図を理解しようとする ◆相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる</p> <p>コミュニケーション能力の育成 (対話力)</p> <p>◆自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら伝える ◆相手に伝わりやすいような話し方を工夫する</p> <p>学んだコミュニケーションの技術をもとに、話題や方向をとらえて的確に自己表現しようとする。</p> <p>互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>社会科歴史学習・人権朝会・総合的な学習の時間、道徳・異学年交流（川村会議、交流遊び、交流清掃等）</p>		<p>育まれてきた非認知能力を社会で生かす 思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>◆論理の展開などに注意したり話の展開を予測したりしながら聞き、自分の考えをまとめる ◆聞き取った内容や表現の仕方を評価して自分の考えを広げたり深めたりする</p> <p>社会的表現力の育成</p> <p>◆根拠をもとに立場を明確にし、相手が理解納得できるよう、論理の展開を考えて説明する ◆場の状況に応じて言葉や表現を工夫し、わかりやすく伝える ◆合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う</p> <p>社会科歴史学習・総合的な学習の時間、道徳・生徒会活動・人権作文・講演会等</p>
	<p>人権感覚・人権意識の涵養</p>		
運動	<p>◆多様な運動に進んで取り組む ◆目標をもって継続して運動する ◆苦手なことにも挑戦し続ける ◆みんなで楽しむ雰囲気を作る</p> <p>体育的行事や体育科の学習、日常的な運動習慣を通して体を動かす楽しさや喜びを味わう。</p> <p>・新体力テスト・運動会・時間走記録会・学校保健委員会等</p>		<p>◆生涯学習の視点に立ち、運動やスポーツに親しむ ◆継続的な運動やスポーツをとおして、心身の健康を維持する ◆運動やスポーツでの交流を通して、地域社会の一員として貢献する</p> <p>・体育祭・新体力テスト・部活動・なわとび運動の取組等</p>
連携・共有	<p>◎小中研究会への相互参加 ◎町教育研究会 授業研究・情報共有・意見交換 ◎児童の文化祭参観 ◎英語科の異校種間授業 ◎幼保こ小中の職員異校種間交流 ◎特別支援学級における交流 児童理解や指導内容等の情報共有</p>	<p>◎入学説明会(生徒による学校紹介等) ◎中学校教諭による出前授業 ⇒中学校の学習形態を体験し、安心感や期待をもつ。 ◎児童についての引継ぎ ⇒配慮事項等を伝え、具体的な指導の手立てにつなげる。</p>	<p>◎小学校担任の授業参観及び情報交換会 ⇒支援シート等を活用しながら入学後の生徒の様子を情報交換し、スムーズに適応できるよう、適切な対処を協議する。 ◎小中研究会への相互参加 ◎特別支援学級生徒の情報共有の継続 ⇒小学校の指導経過を共有し、より深い生徒理解につなげるため、交流する。</p>

山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」イメージ図



人間力¹) 基礎的な素養を身につけ、自己実現を図っていく力・身近な人とともに適切な関係を結び、生きていく力
社会力²) 社会とかかわりを持ち、社会の一員となって役割を果たしつつ、生きていく力

山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」カリキュラム編成委員

ワーキンググループ	所 属	氏 名	職 名	
「山北スタンダードカリキュラム」 〔受け取る力・伝える力〕カリキュラム	岸 幼 稚 園	権守 香昌美	教 諭	
	向 原 保 育 園	諸星 あゆみ	園 長	
	川 村 小 学 校	上村 佳代子	教 諭	
	山 北 中 学 校	村田 哲	総括教諭	
「やまきた学び」カリキュラム	向 原 保 育 園	藤本 祥衣	保 育 士	
	やまきたこども園	尾崎 明日香	園 長	
	川 村 小 学 校	新田 輝	教 諭	
	山 北 中 学 校	高野 大介	教 諭	
国際理解教育・外国語活動・外国語 〔話すこと 聞くこと (やりとり)]カリキュラム	岸 幼 稚 園	鈴木 久美	教 諭	
	やまきたこども園	比嘉 竜也	保育教諭	
	川 村 小 学 校	佐藤 博幸 高木スーサン	教 諭 A L T	
	山 北 中 学 校	池田 真紀 バーサ 杉井	総括教諭 A L T	
食育カリキュラム	向 原 保 育 園	風間 紗耶佳	保 育 士	
	やまきたこども園	井上 香奈	栄 養 士	
	川 村 小 学 校	芦川 真由美 瀬谷 学	栄養教諭 教 諭	
	山 北 中 学 校	滝本 裕美 林 美里	栄 養 士 教 諭	
幼児期から児童期への滑らかな接続のための アプローチ&スタートカリキュラム	向 原 保 育 園	渡邊 陽子	保 育 士	
	やまきたこども園	佐藤 純江	副 園 長	
	川 村 小 学 校	瀬谷 学	教 諭	
小学校から中学校への 接続カリキュラム	川 村 小 学 校	大脇 勉 内田 洋祐	教 頭 教 諭	
	山 北 中 学 校	宇田 晃 石川 幸恵	教 頭 総括教諭	
	事務局(山北町教育委員会)	こども教育課	伊藤 崇	指導主事
			山崎 恵美子	教育専任指導員
飯田 佳寿枝				